

維管束植物標本の特筆すべきコレクション

たなか のりひさ
田中 徳久(学芸員)

2017年1月、維管束植物標本（以下植物標本）の収蔵資料管理システムへの登録標本が30万点に達したことを報告しました（本誌23巻1号2-3頁）。当館の前身である神奈川県立博物館の開館から50年となる節目の年の出来事でした。その報告では、採集点数の多い都道府県や採集者を紹介しましたが、ここでは、本誌などで紹介されてきたコレクションを博物館の資料がより広く利用されるための資料としてまとめました。

おおばたつゆき 大場達之コレクション

採集者単独により採集された植物標本の採集点数では、大場達之氏の採集した標本がもっとも多い30,015点（10.0%）で、古瀬義氏の25,326点（8.4%）、高橋秀男氏の24,529点（8.2%）と続きます。特に大場氏の標本は、県立博物館の開館直後に博物館に寄贈され（県立博物館だより、1巻7号2頁）、文字どおり当館植物標本の基礎となったものです（図1）。

ふるせみよし 古瀬 義コレクション

当館植物標本の2位の採集点数となります。古瀬氏は、日本一の、そして日本最後のプラント・ハンター（植物採集家）と呼ばれ、その採集した標本は、質が高く、国内はもとより、海外の標本庫でも高い評価を得ており、その生涯には15万点の標本を採集したと言われています

（本誌3巻4号32頁；15巻4号31-32頁；当館研究報告43号33-62頁）。また、古瀬氏が採集した標本は、海外と日本の標本庫レベル、個人レベルでの標本交換、寄贈などの事例として、博物館学的に興味深いものでもあります（本誌17巻4号30頁；図2）。

ふくやまのりあき まさむねげんい 福山伯明・正宗厳敬コレクション

福山・正宗コレクションは、当館近くで晩年を過ごされた正宗厳敬氏の自宅に残されていたものが寄贈されたもので（本誌5巻1号8頁）、福山氏と正宗氏が記載した新種のタイプ標本を含んでいます。このうち、台湾産の標本については、台湾大学の謝教授のグループにより調査され、インターネット上で公開されていますが（<http://tai2.ntu.edu.tw/specimeninfo.php>）、日本産の標本には未整理のものも残り、今後の研究が期待されるコレクションです。このコレクションは、第2次世界大戦末期から終戦にかけての混乱期に、当時の日本領で採集された標本が辿った道筋を示す貴重な標本でもあります（図3）。

さわだたけたろう 澤田武太郎コレクション

澤田コレクションは、澤田文庫で知られる植物や自然史分野全般の貴重な蔵書（当館発行『澤田文庫目録』参照）の元の所有者の澤田武太郎氏の採集標本です（本誌6巻1号8頁）。新聞紙の半紙

大の大きな台紙に貼付されたもの（図4）ですが、まだ、未整理の標本も残ります。これらは標本の形状も特異ですが、1950年以降に採集された標本が多い当館の植物標本の中で、それ以前に採集された貴重なもので、神奈川県や各地の当時の自然環境を記録する標本ですし、カムチャツカ地方の標本も含まれます。

神奈川県で採集された植物標本

採集都道府県では、神奈川県で採集された標本が176,908点（59.0%）でもっとも多く、これも当館の重要なコレクションです（このうちの9.1%は前出の高橋氏の採集標本）。当館は、神奈川県立の博物館であり、地域の博物館として、地域に根差した資料収集活動の成果と言えます。特に、その中心となっているのは、県立博物館時代より継続的に実施している『神奈川県植物誌1988』、『同2001』、『同2018』（刊行準備中）のための調査により採集された標本です。現在、『同2018』を刊行準備中で、調査開始以来ほぼ40年間の神奈川県植物相の変遷と現状を報告する予定です。また、2018年夏には、その成果を特別展として、皆様のお目にかける予定です。また、機会を得て、紹介させていただきますので、ご期待ください。



図1. フモトスミレ 静岡県愛鷹山 1951年7月30日大場達之 No. 1 KPM-NA0018624. 採集者の標本番号が1の標本。最初に採集した標本というわけではありません。



図2. シラスゲ 千葉県三石山 1964年10月18日古瀬義 No.42707 KPM-NA0196040. 本誌17巻4号30頁で紹介した標本。重複標本が英国のキュー植物園にあります。



図3. *Pleione formosana* Hayata 台湾福山 1937年4月14日 鈴木時夫 KPM-NA0105412. 植生学の先駆者として著名な鈴木時夫氏が採集した標本です。



図4. カツラ 箱根町底倉 1936年4月15日 澤田武太郎 KPM-NA0208469. 箱根では文献上の記録がありましたが、本標本が確認されました。図1～3と同縮尺で掲載したので、標本の大きさを比べてみてください。